

2 高等学校長推薦（公募）2018

問 題

「三目並べ」とは、プレイヤーが3×3の格子上で交互に自身の領域を指定していき、どちらが先に列を完成させるかを競うゲームである。

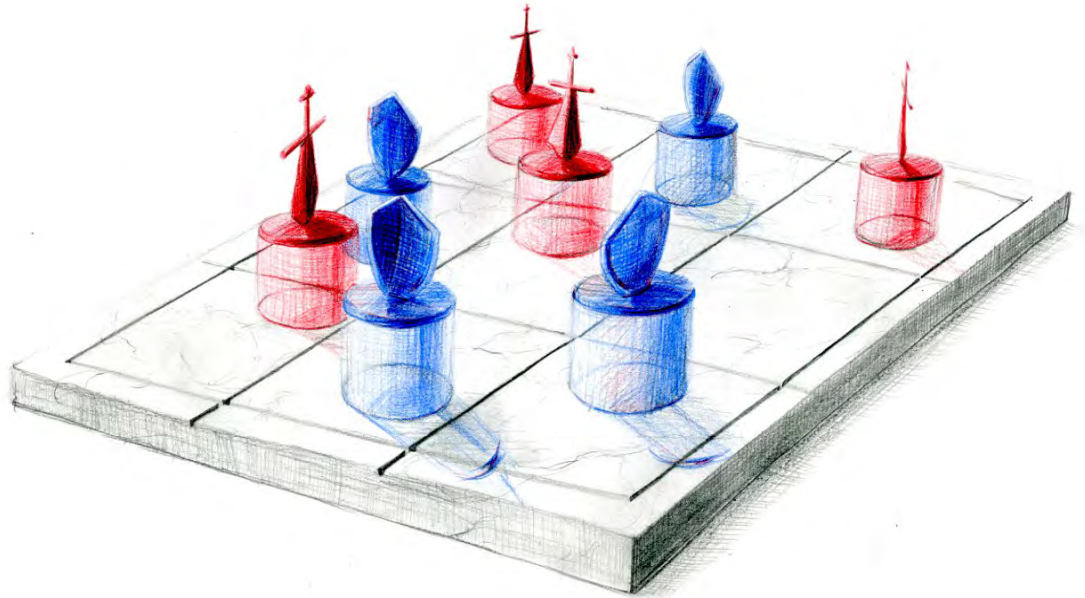
あなたは、「三目並べ」を遊ぶためのボードとコマのセットを手に入れた。ボードの大きさは一辺 30 cmの正方形、厚さ2 cmの白い大理石製で、表面には格子を示すラインが引かれている。コマは直径5 cm、高さ5 cmの円柱の形をした透明の色付きガラス製で、赤と青が各4個ある。

何度か遊んでみると、ガラス製のコマは滑りやすいことが分かった。そこで、持ち手となる立体物2種、各4個を制作し、すべてのコマの上部に接着した。

ボード上に4つのコマが置かれた対戦中の状態を想像し、描画条件をよく読んで、解答用紙（画用紙）に描きなさい。なお、コマの上に接着する立体物の大きさや形、素材については自由に設定してよい。

<描画条件>

- 1) 画用紙の裏面に受験番号・氏名を記入し、表面・横位置で描きなさい。
- 2) 鉛筆や色鉛筆を使用し、フリーハンドで描きなさい。
- 3) 光の方向は自由に設定してよい。
- 4) 与えられた条件以外は自由に設定してよい。



<描画のポイント>

形と大きさ、素材が指定されたボードとコマを描画することによって、対戦中の「三目並べ」を表現します。問題文を読解し、それぞれの素材感や位置関係を正しく表現することが重要です。コマの持ち手となる2種の立体物で、解答者の創造性をアピールできます。

<講評>

与えられた条件にもとづき、不足無く表現できています。ただし、大理石のボードが指定より厚い点が気になります。また、全体的にパースを付けると空間的な広がり表現できます。